

令和2年度第1回東京都ひきこもりに係る支援協議会 会長挨拶

令和2年6月12日

本協議会は、当事者やご家族への支援をより一層推進するために、家族会、当事者団体、相談支援に関わる関係機関や行政機関に参画いただいて、これまでに2回開催し、委員の皆様から様々なご意見を頂戴してきました。

これまでの議論を通じて、ひきこもりに関わる現状、関係機関等の相談・支援の状況、一人ひとりの状態・状況にあった、切れ目のないきめ細かな支援の考え方、当事者や家族の心情に寄り添った支援の在り方など、今後の支援の在り方を考えるうえで極めて重要な視点を共有してきています。

こうした中で、今年度1回目の協議会が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点で書面形式による開催となったことについては、大変残念ではありますが、やむを得ないことと理解しています。

しかしながら、当事者の方のひきこもりになった状態の長期化や、ご家族の高齢化など、当事者や家族が抱える悩みも多岐にわたっている中で、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛が続き、家族関係がより困難になる、不安や焦燥感が大きくなる、当事者が社会と接する機会が減り、より孤立感が深まるなど、様々な影響が懸念されています。

そのため、新型コロナウイルス感染症の脅威が続く中でも、本協議会には、当事者や家族の状況などを踏まえながら、可能な限り議論を進めていくことが求められています。

引き続き、委員の皆様には、様々な視点から御意見をいただきますよう、よろしく願いいたします。